

そと

通信

総経だより mini

2024

そうけいっしん

苫小牧総合経済高校

学校通信

R6.05.20

No.03

文責 総務部 木村

進路講話

5月16日に外部講師を招いて進路講話を行いました。

講師は本校の卒業生であり、苫小牧信金の支店長をなさっている〇〇さまです。

地元での先輩の活躍を通じて、生徒たちは自身自身の可能性の広がりを感じ、機会となったのではないかと思います。

本校では、その可能性を現実世界に具現化するための具体的手段の一つとして資格取得への挑戦・合格があると考えています。

どんな資格でもそうですが、資格はその分野に関する知識や技術の程度を第三者が客観的に担保するものです。

そして、本校で学んでいる商業系科目は、他の学校では容易に身につけ

ることのできないものであることに加え、検定試験にも密接につながっています。

言い方を変えると、本校在学中に学んでいる内容、取得した資格は、他の同年代の学生と比較して就職などに対して大きなアドバンテージを持っているということなのです。自身の可能性をさらに広げるためにも、一つでも多くのアドバンテージを手にしてほしいと思います。

SNS

本校生に限らず、最近の学生生活で、スマートフォンの利用は欠かせないものとなっています。

スマートフォンは、24時間絶え間なく使える便利な情報端末であり、コミュニケーションツールですが、使い方を誤ると思いがけないトラブル

を引き起こしてしまっています。

よく聞く事例ですが、フォロワーにしか閲覧できないようにしたアカウト(鍵アカ)で、時間がたてば削除されるインスタグラムのストーリーに、他人に対する悪口を書き込んだところ、本来であれば、本人の目には触れないはずが、一人のフォロワーがスクリーンショットを保存・拡散したことで発覚し、大きな問題になるといえることがあります。

そもそも、悪口などというものは、それを誰かに伝えた時点で、遅かれ早かれ本人に伝わるものです。「二人だけの秘密」が確実に守られる保証はどこにもありません。

まして、SNSでの発信は世界中の人々に対して大きな声で「これは私たちだけの秘密だよ」と言っているのと同じです。

トラブルを防ぐには、不用意な言葉を書き込まないことが第一です。一時の感情のままに書き込んではいけません。冷静に、言葉をしっかりと吟味してから書き込まなければならぬのです。

そんなことを考え続けていると、しだいに書き込みが面倒になって、発信をしなくなり、SNSそのものから遠ざかってしまうかもしれません。もっとも、SNSから離れることは、同時にトラブルからも離れることができると考えれば、ある種正解といえるかもしれません。

主な行事予定

05/31 避難訓練

06/04 前期中間考査

~06/06

07/05 学校祭

~07/06